



<http://ojara.net>

# Rica's 北千住マップ

## DownTown Walk

この地図に掲載されているお寺や神社のほとんどに文化財などがあります。明るい時間からスタートして、路地裏や、土手をぶらりと歩きましょう。

おじやら画廊では、大がもらえるよ(在庫限り)

月・火・水  
休み  
13時から  
17時



千住の路地裏には  
にゃんこもイッパイ

奥の細道  
矢立初めの地

七福神の神社

芭蕉句読スポット

ブルー文字は、アートスポット

●赤文字はグルメに有名なお店  
●ガイドブックで紹介している史跡/文化財スポット  
銭湯・神社・お寺など、古い建物が沢山あります。

2009.11.現在  
100m 100m

Copyright (C) Rica Ojara.  
All Rights Reserved. ①

# 千住七福神

全部巡って、ご利益パワーアップ

千住の町並みを3-4時間かけて散策。全部巡ると体脂肪も燃焼しはじめます。正月には、無料のスタンプマップも各神社にて配布され、お子様連れ・カップルさん・ご夫婦などがゾロゾロと散策を楽しんでいます。

結構な人が詣でますから、沿道は元旦から営業している飲食店も多数あり。イロハ順に回るのがヨイと思いますが、距離がありますので、レンタサイクルを利用するといいかも。



## 恵比寿様

千住神社 足立区千住宮元町24-1

- ★富士塚 / ★ゲルゲル回る恵比寿様
- ★御祭神 宇迦之御魂命 (うかのみたまのみこと) 須佐之男命 (すさのおのみこと)

★永承6年(1051)源義家が、奥州征伐の際、この神社に陣を構え神前に戦勝を祈願

ほ

## 毘沙門様

白幡八幡神社 足立区千住宮元町3-8

- ★御祭神 誉田別命(ホムタワケノミコト) 別名「八幡の皇子」
- ★源義家が千住神社で陣を構えた時、渡裸(とら)川の渡し場(現千住大橋川上二百m位の所)に白幡を立て戦勝祈願をした。



## 大黒様

本氷川神社 足立区千住3-22

- ★旧社殿は区の文化財 千鳥破風、唐破風の二重破風。頭巾や虹梁部分に龍や鳥の彫刻
- ★御祭神 素盞鳴尊(すさのおのみこと)



## 布袋様

大川町氷川神社 足立区千住大川町12-3

- ★旧千住新橋の石柱
- ★紙すぎの碑 ★富士塚



## 福祿寿様

- ★食物の神・商売繁盛の神・出世の神さまで千住市場の守護神
- ★御祭神 食福魂神(うかのみたまのかみ)
- ★黒漆小形厨子 二基

河原稻荷神社 足立区千住河原町10-13

## 寿老人様

元宿神社 足立区千住元町33-4

- ★千住で最初に開拓された土地の鬼門にあたる場所に鎮守社を奉ったのが始まり
- ★神社前は桜並木
- ★近くにお化け煙突跡、帝京科学大学予定地、千ヶがわ\*縁側で有名な宝湯、西友、西新井橋



## 弁天様

仲町氷川神社 足立区千住仲町48-2

- ★境内社に関谷天満宮も
- ★御祭神 素盞鳴尊 (すさのおのみこと)



レンタサイクル  
キクヤ(千住1-21-10)  
03-3881-7036  
旧日光街道  
本町センター街  
トポス斜前辺りの  
サイクルショップ

電動自転車のレンタルでラクちん。4h500円 10h千円

## 奥の細道・千住宿

### 芭蕉句碑の所在 5箇所と近隣

千住は奥の細道のスタート地点でもあり、多くの芭蕉ファンが集います。芭蕉の句碑とその近隣を結んだ散策コースを作ってみました。芭蕉句に続けて、俳句を詠みながら歩くのも楽しい思い出になりますよ。  
矢立て初め 細道そらと 千住葱 おじゃら句 (→駄句御免)

このコースは、千住大橋駅を早朝に出発し、まず、千住大橋を渡り左側、千住大橋公園にある、矢立て初めの地を訪ねます。そのあと、千住大橋を戻り足立市場内の飲食店などで朝食・早めの昼食を取ると良いでしょう。市場は朝5時から8時ごろまでが最も賑やかです。写真撮影などをしたい方も、早めがおススメです。近所には、石洞美術館もあります。こちらは朝10時から。原則月曜がお休みですが、営業日などは、事前に調べてから行くといいでしょう。



### 千住大橋公園

芭蕉が奥の細道の出発地(この地)で詠んだ俳句「行く春や鳥啼魚の目は泪(ゆくはるや とりなきうおの めはなみだ)」が刻まれている。

### ★ 奥の細道 矢立初めの地

### 足立市場

足立市場は東京都に3ヶ所ある中央卸売市場(足立・築地・大田)のうち唯一の水産物専門市場。朝5時から8時ぐらいまで。市場内には、早朝から昼ぐらいまで営業する飲食店もいくつかあり、鮮魚料理が楽しめる。

### 芭蕉像

千住橋戸町50 足立市場出て左側(千住奥の細道7\*テラス)

芭蕉像と為成菖蒲園  
「街薄暑奥の細道ここよりす」石碑



### 石洞美術館

足立区千住橋戸町23  
10:00~17:00 (入館16:30分まで)  
大人500円/子供300円(小学生以下無料)  
03-3888-7520



●唐加彩婦女像  
(中国唐、8世紀)

佐藤千壽さん(美術工芸振興佐藤基金理事長/千住金属会長)が約60年をかけて収集した情熱のコレクションを展示。毎回120点程の展示で半年会期で展示替えが行われる。陶器筋では有名な美術館。

●茶館 妙好(1階カフェ)  
体の一部に不自由があっても、前向きに一生懸命生きている人の事を、宗教的には妙好人と呼ぶところから、茶館の名前がつけられました。障害を持つ方たちが力を合わせて運営をしています。茶房には、喫茶の他、パンや、ケーキなどの軽食もあります。時間が許せば、こちらで一服し、次の場所を訪ねましょう。



### 五 千住神社

足立区千住宮元町24-1(境内)

千住神社の由緒 古い記録などによると、延長4年(926年)、土地鎮護と五穀豊穡を祈り、伏見稻荷より分霊を勧請し稻荷神社を創立。永承六年(1051年)、源義家は奥州征伐の際、荒川(現 千住大橋付近)を渡り、二ツ森(現千住神社)に陣営し、戦勝祈願をしたとのこと。弘安2年(1279年)、武蔵国一ノ宮氷川神社より分霊を勧請し氷川神社を創立。鎌倉時代より江戸時代にかけて、ここは二ツ森と呼ばれ代々の将軍が二ツ森で鷹狩りを行ったと旧考録に記されている。寛永年間には、千住が日光街道の第一宿となり、西の森とも言われた。

千住七福神の恵比寿様の他、  
●獅子頭一對(塩川徳次郎、通称獅子徳の作) ●開帳木札などの文化財も

芭蕉句碑  
『ものいえば 唇さむし秋の風』



### 六 千住宿歴史プラテラス

足立区千住河原町21番(やっちゃば並び)

句碑『鮎の子の しら魚送る 別哉』  
句碑は、建物の門の前にあり、閉館していても見ることが可能です。1830年(天保元年)3月に建築された土蔵で平成4年榊山家より寄贈され、この敷地に移設されました。間口が二間半、奥行き三間半の2階建ての建物で、ギャラリーとして、区民に無料で貸し出されている。

### 七 本氷川神社

足立区千住3-22

●句碑『春も漸 けしきととのふ 月と梅』  
●千住七福神の大黒様  
●旧社殿は、千鳥破風・その前面が唐破風となり、二重の破風を京成し、頭貫や虹梁の部分には、龍や鳥類の彫刻が目立っている。区の文化財。

### 八 安養院

東京都足立区千住5-17-9 (境内)

●句碑『行く春や 鳥なき魚の 目は泪』  
北条時頼が創建した「長福寺」がルーツで、火災などに見舞われ現在の地に移転したと伝えられる。  
●かんかん地藏尊 / ●仲良し地藏尊

# 千住の歩き方

## 旧日光街道を中心に左右に広がる寺社を訪ねよう

この街は、旧日光街道を中心に広がってゆきました。ですから、千住をはじめてという方は、旧日光街道を中心に、周辺を攻略するというのをオススメします。

宿場町というのは、観光地とは違います。旅人が目的地の途中宿泊を目的に栄えた名残は、かすかに街中に残されています。一つ一つを訪ねて、掲示されたウンチクの看板などを読みながらぶらぶらと散歩するという前提で、駅周辺あたりから、★印をつけてみました。お時間の許す限り、沢山訪ねてくださいね。

## 文化財と石碑巡り

### 文化財が教えてくれる千住を楽しもう

千住に点在するお寺や神社のほとんどは古い建物で、たくさんの文化財も保管されています。石碑や建物(外観)など、訪ねると見ることができる品も多いです。また、文化財登録がされている建築物や、仏像などには、説明書きの看板が出ている場合が多いです。

寺院に收藏されている仏像などは、公開されていないのが普通です。お閻魔像や、こて絵など、年に一度開帳日がある文化財には、日付けを明記しています。文化財を訪ねるという視点で、千住散歩を楽しんでみてください。

A

### 千住の鷗外碑

足立区 千住 1丁目30-8  
橋井堂医院跡(現足立都税事務所)

小説家・森鷗外の乳父静男は、明治12(1879)年に郡医として千住に転居。この地に橋井堂(きっせいどう)医院を開業。林太郎(鷗外)は明治14(1881)からベルリンに行くまでの4年を千住で過ごした。小説『カズイチカ』にこの頃の描写がある。



B

## 金蔵寺

足立区千住2-63

真言宗豊山派で、氷川山地蔵院(または閻魔院)と号す。本尊は閻魔大王で、建武2年(1335)3月の創建という。お閻魔様が、夜な夜な美女に変身し、二丁目の蕎麦屋(柏屋という噂も?)に蕎麦を食べに行ったことから、『蕎麦閻魔』の相性で呼ばれています。

- 天保餓死者の無縁塔  
天保八年(1837)の大飢饉の餓死者828人のうち、370人がこの墓に葬られたとの記載がある。
- 千住遊女供養塔  
江戸後期にもなると150軒程の飯盛り旅籠があり、飯盛り女(宿場女郎)を置いていた。貧しい農家から売られてきた宿場女郎たちは病気などで死亡すると、この金蔵寺や千住1丁目にある不動院に投げ込まれたと伝えられる。

C

## 勝専寺

通称赤門寺  
足立区千住2-11



②扁額 『三宮神山』菱潭書

③木造 千手観音立像



①お閻魔様と呼ばれ、開帳日の1月15-16、7月15-16日には、沿道に縁日が立ち賑わう。

②菱潭は、明治時代の三筆の一人。隷書では当代随一の書家

③千手観音 昔荒川から引き上げられ信仰された。千手→千住に転化し、地名が起こったという伝えがある。



①木造 閻魔(えんま)王坐像



# 長円寺

足立区千住元町4-27-5

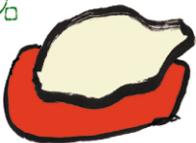
## 山松月



②石造 魚籃観音立像

①扁額 『月松山』正木健順の揮毫

③乳泉石



①正木建順は、群雀堂(正木塾)三代目校主。寺子屋教育・地域文化発展に貢献。漢詩や詩文にも優れた人物。

②三門を入ると、すぐ左側に小さな堂があり、魚籃観音様が奉られている。

④



③乳泉石(にゆうせんせき) この石は乳の出を良くすると評判で、石(炭酸カルシウムを含む石灰岩質)を削ってお参りする人に分けていたと伝えられる。

④目やみ地藏さま(子育て地藏) 山門外の左側に、小さなお堂があり通称『めやみ地藏様』と呼ばれていて、昔から目の病を持つ人が多く訪れた。給馬屋さんの、『め・め』という給馬も多数奉納されている。



# 四丁目氷川神社

足立区千住元町4-31-2 (長円寺のすぐ並び)

●静御前の山車は区の指定文化財(現在は郷土博物館が展示・収蔵) 明治5年の落成で、人形は『ねずみや五兵衛』の作と伝えられる。高さは約7.5メートル。 天辺には静御前のからくり人形が舞う。

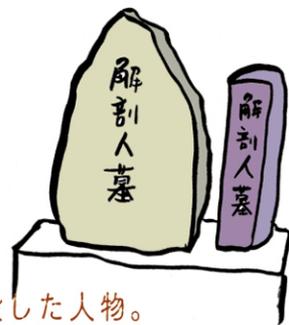
- 正木襟蔭事石碑
- 高正天満宮縁起碑



# 清亮寺

足立区日の出町42-1

## 山榮久



- ①扁額 『久栄山』 中村不折の揮毫。 慶応2年(1866)生まれ。根岸に書道博物館を創設した人物。
- ②山門を入った左側墓地に解剖人墓。 明治三(1870)年、南千住小塚原で処刑された死罪人の遺体は、同所回向蔭にて回向。その後この寺に運ばれて、腑分け(解剖)された。古い墓は明治五年、破損が大きくなり、昭和四十年に作られた新しい墓と並んでいる。
- ③槍かけの松跡地 徳川光圀(水戸の黄門様)が江戸に向かう大名行列で水戸街道を進行中、槍持ち(いかなる理由でも、槍を倒してはいけなかった。)が、街道に張り出した立派な松を、通行のため切ろうとしたときに、『伐るのは惜しいので、ここで槍をかけ、休みを取り、枝の向こうから槍を持てば、槍を倒したことはない。』と松を称えたことから『槍かけの松』と呼ばれ、全ての大名行列が、この寺で足を休めたと伝えられる。有名な『やりかけ団子』の店名もこの松に由来。



# 名倉医院

足立区千住5-22-1

江戸時代から接骨医として有名な史跡。カゴや車で運ばれてくる骨接骨患者が医院周辺にも、宿泊して治療ができる宿屋があり、主人は代々名倉の医師も兼ねていた。



# 虹の広場

荒川土手 虹の広場。四季折々、花も咲いて、のんびりできます。



# 給馬づくり

足立区千住4-15-8 給馬屋

『藝術は美しく、給馬は優しく』

無形民族文化財保持者 吉田晃子さん

- 大きさは、普通15-30センチ。経木に胡粉を塗り、極彩色の泥給の具で描画。家伝の図柄を描く。家形の小給馬の他、かつては板に描く付木給馬という品もあったらしい。給馬屋さんで給馬を買えます。お祭りの地口あんどんの給も給馬屋さんの仕事。



## J 横山家住宅

足立区千住4-28-1  
給馬屋さんの正面通り

行馬屋敷の面影を今に行える商家の建物。間口が広くて奥行きが深い建築様式で、戸口は一段下げて造られている。

屋号は『裕屋』といい、線善まで地漉き紙間屋を営んできた。現在の母屋は文政2年(1819)の建造であるが、昭和十一年に改修が行われている。

間口が九間、奥行きが十五間。入り口には広い土間、商家の書院造と言われる、大きな帳場があり、外からは大きい格子窓などを見ることができる。



## K 本陣跡石碑

千住3-33

- 三丁目、100円ショップシルク前。面積は約361坪、建坪は120坪。本陣とは、江戸時代以降の宿場で大名や旗本、幕府役人、勅使、宮、門跡などが使用した宿泊施設。

一般の人は利用することができなかった。

## L 見番横丁

千住3-33 3-22を  
区切る通り

この小路は、昭和初期まで見番横丁と呼ばれた細道で、芸妓置屋や俵宿などが軒を連ねており、旅人に芸者さんの口利きをする店が並ぶ場所だった。(ちなみに芸者さん以外は別な場所で口利きしたい)

細い路地は駅まで続いている。  
三丁目宿場町通りに入って、すぐ左側の路地の入り口には、「千住本陣跡とその周辺」という観光案内の看板アリ。

☆☆ 一休み ☆☆

庚申信仰：中国の道教の節に、庚申の日の夜、三尸虫(さんしむし)という霊物が、人間の過失・悪い行為などを昇天し上帝に告げ、悪人の命を奪うという教えがあった。  
日本には、平安頃に伝わる。長生きを願うなら、庚申の日に睡眠をとらずに、三尸虫が昇天し、告げ口をしないように徹夜して見張るといふ儀式であったが、鎌倉・室町時代には、将軍や大名が近習を集め無礼講酒宴を行っていた。  
江戸時代には、地方や庶民にも広がり、一夜を愉快に過ごす格好の催し日となっていた。  
それに伴い、信仰のための石碑や塔なども多く残されている。

## M 慈眼寺

足立区千住1-2-9  
地藏菩薩(主尊)庚申塔  
蓮華座の光背型地藏菩薩庚申塔。区内でも最も初期の塔であり貴重。

## 源長寺

足立区千住仲町4-1

- 石出掃部亮吉胤(いしでかもんのすけよし)の墓  
文禄三年(1598)千住大橋架橋にたずさわる。慶長三年(1596)千住に転入、新田の開発、荒川水除堤の大工事などの功績。
- 多坂梅里(たさかばいり)追悼碑  
医業・俳人・卓越した教育者でもあった多坂の門弟五百余人により文化八年(1811)に建立。単に学習に限らず全人的教育を施したと印されている
- 一啓齋路川(いっけいさいろ)句碑(文化十年没)俳友建部巢兆の住む千住に移り、二十年間居を構えた。碑文表に辞世の句『夏の野に火は消えながら月夜かな』裏には、『家は、ただ四壁、一として長物なく、清素にして自ら楽しみ、書法を以ってお家、句読を授けて業となす』とある。



●阿弥陀坐像庚申塔

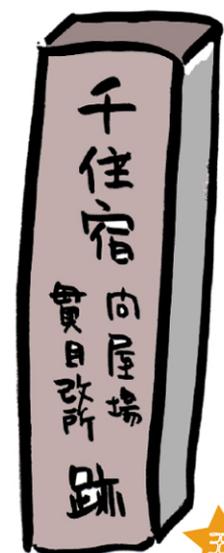
## やっちや場

足立区千住河原町(7°チラス並び)

自家製の野菜や川で獲れた小魚などを道端で販売したのがはじまりと伝えられる。石碑などから逆算すると、天成四年(1576)頃から賑わいをみせていた。  
文禄三年(1594)年には千住大橋が架けられ、荷の扱が増加。享保年間(1720)には、神田・駒込とともに江戸の三市場の一つ、幕府御用市場となった。

空襲でほとんどの建物が焼けてしまったのが残念。

付近には、当時の面影を復刻した木の看板がいくつも展示されている。



## 五に

## 千住神社 3ページ参照

P

## こて給

## 橋戸町稲荷神社

千住橋戸町25

本殿は、幅2.6メートル、奥行き2.3メートル、本瓦葺、寄棟造り平入りの小柄な土蔵。本殿の観音開きの扉の内側に、こて給でならした「夫婦狐」のこて給が取り付けられている。左官、伊豆長八の作品とされる。毎年九月十五日がご開帳日。



## グルメなお店紹介

有名なお店をピックアップすると

- かどや（やりかけだんご）千住5丁目
- 石黒のあめ（飴・水あめ）千住3丁目
- おおはし（居酒屋）千住3丁目
- ゑびす屋（ウナギ・天ぷら）柳原商栄会
- たなかや（鮮魚・巨大トンカツ）住橋戸町13
- 増栄（千住揚げ・おでんねた）千住3丁目
- 上岡（精肉・和牛タタキ・ローストビーフ）千住2丁目
- SUNNY DINER

Q

## 大正記念道碑

千住宮元町29 / 千住緑町3交差点付近

この碑の前から千住大川町氷川神社前までの新道、大正道路の完成記念の碑。道路は、西掃部堀（かもんぼり）を埋めて造成、全長1052メートル。記念碑は高さ2.5メートル、大正五年の建立。碑文は、鷗外（森林太郎）の撰。碑文は、当時の東京府知事 井上友一の書。書は、河邨正憲、刻は森田春鶴による。



よく行くお店は、

- ナラン（カレー）千住3丁目
- インドラ（カレー）千住1-39-9
- ライカノ（タイ料理）千住2-62
- ビットリア（イタリアン）千住3-53
- さつき家（和食）
- 栄寿司 千住4-12-6
- 粹心亭（お料理・居酒屋）千住3-57-2
- ふらんす屋（パン屋）千住3丁目
- EPI DE ROUGE（パン屋）千住3丁目

お茶をするのであれば

- 一凜（ベーグルランチ）千住3-39
- tulips cafe（カレー・青汁）千住3-49

BAR

- THE SUN →おじゃら画廊となり（BAR/土・日のみランチ雑穀米カレー）

R

## IBNTT千住

(千住郵便局電話事務室)

足立区千住中居町15

昭和4年に竣工/建築デザイナーは日本武道館・京郡タワー・聖橋なども手がけた山田守氏。その筋では有名な建物。文化財登録が望まれている。



S

## 西光院

足立区千住曙町27-1

- 青面混合庚申塔
- 西光院手水鉢
- 石出常軒（いしでじょうけん）の碑  
断獄令俗称牢屋奉行・国学者  
隠居後は、源氏物語の注釈書『窺原抄』他多数を刊行

味覚は人それぞれなので、アナタのお口に合わないってこともあるかもしれません。

また、有名なお店の何店かは行った事ないので予めご了承下さい。

